

車の運転をやめない…

⇒修理に出すと言って車を遠ざけましょう

【 認知症の人の状況 】

とよさと病院認知症疾患医療センター

高齢者の自動車事故は多くありますが、とくに認知症になると**注意力が散漫**になり、信号に気が付かなかつたり、歩行者を見落としてしまったりします。もし、他人を巻き込んで事故を起こしたら取り返しがつきませんので、認知症がわかった時点で、車の運転は早くやめさせる必要があります。

しかし、車に乗るのは楽しいし、何よりも長年乗っていて運転には自信がある。それなのに、歳だから危ないと運転能力の低下を言われると、自分の人間性を否定されたようになるものです。運転できないことは、**楽しみを奪われる**ことでもあります。「危ないからダメ!」と強く言うと、余計に強い思いになります。また、**身近な家族が説得しても効果がない**ことが多いのです。

なるべく家族が
助手席に乗る

「車を維持する経済的
余裕がない」と説明する



【 対応方法 】

①尊敬できる人や信頼できる人、**主治医や警察**などから話をしてもらいましょう。75歳以上の方が免許更新時には「**認知機能検査**」が必要になります。ここで認知症と判断されると、免許取り消しになることがあります。運転をやめるべき理由を、**他人から具体的に説明**してもらおうと納得してもらいやすいでしょう。



認知症と診断されると、
法律で車の運転をしては
いけないと決まっています

車を傷つける接触事故などを
起こして、本人も不安に思った
ときに、「運転を諦める」ように、
よく話をしてみましょう

②車検や修理を口実に、車を**本人の目にふれないようにする**のもひとつです。多少強引なやり方になりますが、目の前から車がなくなってしばらくすると、運転へのこだわりが消える場合もあります。

③移動は車でない方が「得」だと思わせる方法もあります。路線バスやタクシーなどにはシニア割引があり、運転免許証を警察署に**自主返納**すると市町村独自のサービスを受けることができます。**お住まいの自治体の制度をうまく活用**してみてください。運転以外の生きがいを見つけられるといいですね。

